



裁判員等経験者との意見交換会 開催概要

参加された裁判員 7名

呼称番号	職務従事期間	事件の罪名	認否	争点
①	3日（審理2日）	現住建造物等放火，殺人	自白	量刑
②	3日（審理2日）	現住建造物等放火，殺人	自白	量刑
③	7日（審理3日）	強盗致傷等	否認	責任能力（心神耗弱か否か）
⑤	5日（審理3日）	強盗致傷等	自白	量刑
⑥	9日（審理5日）	現住建造物等放火等	否認	共謀の成否（放火の実行犯と共謀したか否か）
⑦	8日（審理6日）	強盗致傷等	自白	量刑
⑧	3日（審理2日）	殺人未遂等	自白	量刑

※④番の方は欠席です。

※司会の裁判官の他，裁判官1名，検察官1名，弁護士1名，報道関係者1名が出席しました。

※この開催概要は，主だった御意見・御感想等を掲載します。

※職務従事期間に，選任手続期日は含まれません。



話題事項：審理に関する感想

	冒頭陳述，証拠調べ，証人調べ，論告・弁論など審理に関する御意見・御感想をお聞かせください。
①	○犯行に至るまでの経緯や犯行の手口については，被告人の客観的な資産状況の変遷や，集合住宅の火をつけた地点での場所の見取図や写真で見聞きできて，分かりやすかったです。 ○放火されたアパートの所有者が被害者証人として証言して，どれだけ放火による被害を被ったか実感としてありましたが，ここでも見取図や写真を用いて，どんな方が住んでたっていうことで話を聞ければ，参考になったかなという気はしました。
②	○自白事件であったからか，証拠では，写真が印象が残っていて，証人が少なかったような気がします。 ○裁判で出てくる証人は意外と少ないなという印象です。
③	○被告人の生い立ちからいろいろと話されて，その経過で今（犯罪）があると理解できて，事件の内容が分かりやすかったです。 ○弁論では，被告人の生い立ちの中で，精神的な成長がないとか，内面の貧困化とか，そういうことで犯行に至ってしまい，環境さえ整えば，何とかできるんじゃないかと解決策も示されて，私たちの話し合いの中でも，環境を変えて，本人が出直せるんじゃないかという結論（判決）になっていきました。
⑥	○証人がたくさんいましたので，冒頭陳述の人物関係図や時系列に，証言を落とし込んで，誰がどの言葉をついたのかを確認し合っ，その発言の時間的整合性などを確認しながら，事実を話し合うことができました。 ○もう少しこの人の証言を聞いてみたかったっていう方もありましたし，この人を何で呼ばなかったのかなっていう人がいたのも事実です。
⑦	○冒頭陳述は，各事件の人物関係図など10枚ぐらいにまとめていただいて，分かりやすく説明を受けました。
⑧	○背景として，オーバーステイの事情から殺人未遂に至ったのかという説明や時系列のようなものの説明がきちんとあって，その後を見たときにこういうことだったんだとよく分かりました。分量や種類も適当だったと思います。この事件については，時系列は必要と感ずます。 ○殺人未遂というかなり重い事件だったんですけども，被告人の殺意が弱かったという弁護人の話をいただきました。命に関わるような事件だったということで，殺人未遂に関して，危険性が低いとか高いとかっていうのをどこで線引をしたらいいんだろうっていう印象がありました。



話題事項：裁判員等として参加するに当たっての感想

	審理日数、審理の内容や証拠等について、御負担に感じた点など御意見・御感想をお聞かせください。
③	○統合失調症の話が、かなり専門性の高い話でしたが、それについて、裁判官が説明をしてくださって、みんなも質問をたくさんして、すごくよく納得できました。量刑についても、これまでの裁判例をモニターで見ながら説明をしてくれました。あまり精神的な負担にはならず、上手に導かれて、分かりやすい裁判になったと思います。
⑤	○コロナ禍前の参加であったので、裁判官と一緒に昼食を取るなどして、フラットに色々な話をしました。みんなが遠慮している様子もなく、裁判官や裁判所の職員の方にいろいろと聞けて、いい感じで過ごすことができました。
⑥	○法律用語など、裁判官の方が良くかみ砕いて説明をくださいましたし、こういう事件の場合には大体がこのぐらいの刑になっているというものを出示していただいて、そこからみんなが話し合っ、不明な点はその場で質問をして説明を受けたので、納得した上で、話し合いはできたと思っています。
⑧	○被害者の肉体的ダメージの写真は、そのままだと生々しいのですが、白黒にしてもらっていました。白黒であっても、それがあったからこそ、被害者が受けた肉体的なストレスと心の精神的なストレスというのが私たちの方に伝わったと思うので、必要な証拠だったと思います。損傷した体内の内臓の一部が映し出されたので、それに関しては、白黒で良かったと思います。 ○私の職場では、快く送り出してくれて、有給休暇もあって、裁判の日程は早めに終わったけれども、精神的にも負担があったらうからとそのままお休みをしました。裁判員裁判でお仕事をお休みするのが取りやすいような職場が増えていけばいいなと思っています。



話題事項：これから裁判員等になられる方へのメッセージ

	これから裁判員等になられる方へのメッセージをお願いします。
①	○かなり有意義な経験をさせてもらって、前向きに素直に受け止めたのが、必ず自分のためになるんじゃないかと思いました。やってみて、ありがとうございますっていうような感じです。今後、後に続く方についても、ためらうことなく、前向きに参加していただければと思っています。
②	○私が担当した裁判は、貧困の問題と高齢化の問題で悲惨な事件が起きたわけですが、裁判員になって、色々勉強すれば、少しは、高齢化社会であっても優しくなれるんじゃないかなと思いました。そういう意味でも、こういう場を作って、優しい日本になるように努力するのにも、いいんじゃないかと思って、裁判員裁判をどんどん普及してもらいたいと思います。
③	○私は仕事を辞めてからもう大分経つのですが、その裁判員裁判で、若い方たちがたくさん参加してて、活発な意見を述べられていて、それに参加して、とても楽しかったです。たくさんの方に参加していただけるようになったらいいなと思います。
⑤	○裁判長が、素人の私たちに対して、自分の考えをまとめてくれるような導き方をしてくださり、事件ってこういうふうになんか問題点を出して、それでまとめていって、結果を出すのかと、とても勉強になりました。とてもいい経験をしたので、いろんな方にこの経験をしていただければいいなと思います。
⑥	○最初、とても不安な気持ちで裁判所まで来たんですが、裁判長の方が色々とかみ砕いて説明していただいたり、被告人とかの話の聞いているうちに、自分の周りではあり得ないような人たちがこんなにたくさんいるっていうのが初めて分かりまして、新しい世界を見たような感じがしました。でも、その中で自分の意見も言わせていただいて、裁判の判決が下ったときには、こんなふうにして裁判って決まるんだなと分かりました。裁判員裁判を自分で試してみ、良かった事の方が多かったと思います。
⑦	○最初はやっぱり気は重かったですね。日が経つにつれて、皆さんのお話を聞いてですね、だんだんと興味がわいてきました。これから参加する方には、参加して悪いことはないよと伝えたいです。
⑧	○悲しかったり、辛かったり、悔しかったりっていう事件を目の当たりにすることになるとは思いますけれど、裁判の流れっていうのはこういうことで、弁護士の方、検察官の方がどれだけ努力をしているのかわかるいい機会だったと思います。大変貴重な機会だと思いますので、あまり、変に悩まずに、裁判員の封筒が届いた人は開けて、参加できるようになっていけばいいなと思いました。